

令和3年5月20日
在マイアミ日本国総領事館

～米国気象当局による2021年ハリケーン・シーズンの見通し～

- 米国立海洋大気庁（NOAA、National Oceanic and Atmospheric Administration）は、今年のハリケーン・シーズン（6月頃～11月頃）には、60パーセント以上の確率で「平年以上」に多くのハリケーンが発生するとの見通しを発表しました。
- 今シーズン中、命名される熱帯暴風雨は13～20個（昨年は30個発生）発生し、そのうち6～10個（同13個）がハリケーンに、さらにそのうちの3～5個がカテゴリー3以上の重大ハリケーン（同6個）となると予想されます。
- 米国連邦緊急事態管理庁は、ハリケーンへの備えを呼び掛けています。当館ホームページ上の「ハリケーン対策」をはじめ、下記の当局が発信する関連情報を参照の上、日頃から最新の気象情報を確認するように努めてください。

【2021年ハリケーン・シーズン見通し】

<https://www.noaa.gov/media-release/noaa-predicts-another-active-atlantic-hurricane-season>

【ハリケーン対策】

https://www.miami.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/info_hurricane.html

内容：ハリケーン基礎知識、備蓄品のチェックリスト、米国当局の関連情報収集先のリンク等を掲載しています。

【日本語でホテル・航空券の手配が可能な日系旅行代理店】

<https://www.miami.us.emb-japan.go.jp/files/100048603.pdf>

内容：避難時にホテルや航空券の手配が必要な場合、フロリダ州内にある日本語で相談・手配が可能な代理店を案内しています。